

# 監査・実地指導等における主な指摘事項について

---

札幌市保健福祉局

障がい保健福祉部障がい福祉課

(指導担当)

# 本日の講義内容

---

- 今年度の傾向 3
- 実地指導における着眼点(共通) 6
- 実地指導における着眼点(訪問系) 12
- 実地指導における着眼点(日中活動系) 14
- 実地指導における着眼点(施設入所系) 16
- 実地指導における着眼点(児童) 17
- 苦情、通報対応について 18
- 虐待について 19
- 不適切な事案が発生することについて 21
- よく聞かれること 22

# 今年度の傾向①

---

## ■ 監査が非常に増えている

- 10月末時点ですでに9件(昨年度は年間で3件)
- 不正請求
- 虐待
- 虚偽の届出

# 今年度の傾向②

---

## ■「監査」について(補足)

- 通常の「実地指導」とは異なり、指定の効力停止や取消の可能性のある重大な事案に対して行う調査。
- 通常皆様のところにお邪魔しているのは、「実地指導」であり、「監査」ではありません。

# 今年度の傾向③

---

- 過誤調整(給付費の請求誤り)が増えています
  - 金額も高額化の傾向
  
- 警察と連携する案件が増えています
  - 主に虐待ですが、逮捕者も複数出ています

# 実地指導における着眼点（共通①）

---

- 従業者と雇用契約を交わしているか。また、秘密保持の誓約書を徴しているか
- 出勤の記録が適切か ⇒ 人員基準上配置することとされている従業者の場合、法人役員であっても出勤時間を確認できる記録が必要です
- 指定を受けた場所で支援を行っているか ⇒ 指定を受けた場所に隣接する部屋を勝手に利用していた事例がありました

# 実地指導における着眼点（共通②）

---

- 計画は適切に作成されているか
  - 利用者の状態・希望を分析、確認し
  - どのような目標を設定するか
  - そのために、どういった支援を行うか
  - 実際、支援を行ってみて、達成度はどうか
- 同じ計画が何年も続いていないか

# 実地指導における着眼点（共通③）

---

- 契約書に、「サービス提供開始日」が記載されているかどうか
- 重要事項説明書に「提供するサービスの第三者評価の実施の有無」が記載されているか ⇒ 実施していない場合は、その旨記載
- サービス提供の記録が適切にされているか、また、適切に確認を受けているか
- 研修計画を立てて、それに沿って研修が行われているか



# 実地指導における着眼点（共通④）

---

- 利用者負担の項目及び金額を示しているか
- 請求書、領収書を発行しているか
- 法定代理受領通知書を渡しているか

# 実地指導における着眼点（共通⑤）

---

- 虐待防止の体制は適切か ⇒ 虐待防止責任者を選定すると運営規程にありながら、実際には選定されていない事例が散見されます
- 避難訓練を行っているか。また、その方法は適切か
- 事故報告を上げているか
  - 同じような事故を起こさないようにすることが大切

# 実地指導における着眼点（共通⑥）

---

## ■ 処遇改善加算

- 処遇改善計画書を従業者に周知しているか
- 処遇改善加算を誰にいくら渡したかの記録があるか（給与明細に記載なし、など）
- 研修計画、研修実施記録は十分か

# 実地指導における着眼点（訪問系①）

---

- 計画は作成されているか。また、具体的な支援手順を書面化しているか
- 2人支援で入っている場合、その必要性や役割分担が計画に記載されているか
- そもそも適切な支援か

## 実地指導における着眼点（訪問系②）

---

- 計画にない支援を行っていないか（利用者以外の支援も含む）
- 行動援護において、支援計画シートが作成されているか  
⇒ 未作成の場合は5%の減算となります

# 実地指導における着眼点（日中活動系①）

---

- 食事代が食事提供体制加算対象者とそれ以外の人で料金が分かれているか
  - 食事提供体制加算対象者 ⇒ 食材費のみ請求
  - 食事提供体制加算「非」対象者 ⇒ 食材費と、調理をする人の人件費相当分
- A型事業所において生産活動で得た収入で、賃金をまかなえているか

## 実地指導における着眼点（日中活動系②）

---

- 施設外就労を行っている場合、事業所に残っている従業者で人員基準を満たすか
- 施設外就労を行っている利用者に対して月2回以上、達成度の評価を行っているか
- 欠席の記録は十分か

# 実地指導における着眼点（施設入所系）

---

- 日々の支援記録は十分か（ただの賃貸住宅になっていないか）
- 外泊の記録が十分か
- 金銭管理は適切に行っているか



# 実地指導における着眼点(児童)

---

- 人員基準を満たしているか
- 送迎の記録は適切か
- 欠席時対応加算を算定する場合の、記録は適切か
- 慢性的な定員超過となっていないか
- 自己評価結果等を公表しているか

# 苦情、通報対応について

---

## ■ 虐待通報が増えています

- 今年度、虐待により利用者が死亡するという極めて重大な事案が発生しています
- 虐待認定件数も増加傾向にあります
- 虐待防止の研修は、必ず「定期的に」実施してください

## ■ 職員の逮捕に至った事案も複数発生しています

- 傷害致死、傷害、窃盗、青少年健全育成条例違反・・・

# 虐待について①

---

- 今年度、利用者が死亡する虐待事案が発生
  - 事業所は指定の全部効力停止6ヶ月の行政処分
- 他にも複数の案件が虐待認定されています

## 虐待について②

---

- 「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」に「早期発見チェックリスト」が掲載されています
  - 身体に不自然なアザや傷跡
  - 自傷、他害行為が増えてきたと感じる
  - その他普段と異なる様子

これらは、虐待の兆候かもしれません

⇒ 市に通報してください(通報義務があります)

# 不適切な事案が発生することについて

---

- 職員の職場環境が遠因となっている場合も考えられます
  - 職場の人間関係
  - 給与などの待遇
  - 長時間労働や、深夜、早朝の支援
  
- 一度不適切な事案が発生すると、事業所の信頼が損なわれます

# よく聞かれること①

---

- 記録はどのくらい書けばよいのですか？
  - 記録は当然に必要です
  - たくさん書けば良いというものでもありません
  - 大切なことは、あとで見たときに分かるようにしておくこと
    - ✓ いつもと違うことがあった
    - ✓ 事故、苦情の記録は丁寧に
    - ✓ 責任者の方は記録のチェックも
  - 毎日同じ記録になっていませんか？

## よく聞かれること②

---

- 利用者や保護者とトラブルになったがどうしたらよいか
  - まずは記録を丁寧に残しましょう
  - 関係者で情報を共有しましょう
  - 解決困難な場合は、協力してくれる相手を探しましょう
  - あとで、「振り返り」をすることをお勧めします
    - ✓ 必要に応じて、対応マニュアルの見直しもお願いします

# ご清聴ありがとうございました

---

- 本日の内容は、職員研修などの際に、従業者の皆様にもお伝えください